

ひまわり



第19回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 角森 玲子 様

- 2 ▶ 3 理事長交代のご挨拶
- 4 ▶ 5 連載vol.24◎[郷土の歴史]
木田の里
- 6 連載vol.61◎[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 7 ▶ 10 各施設トピックス
- 11 ▶ 12 福寿園ニュース
- 13 ▶ 14 家族会だより
- 15 連載
 - ◎外国人介護士 紹介インタビュー
 - ◎施設長・管理者のリレーコラム
 - ◎福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」
- 16 第20回福祉の絵手紙作品募集

170号

令和5年7月10日



退任のご挨拶

特別顧問 山田 浩三

この度、6月16日付をもちまして理事長を退任いたしました。在任中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、在任中の9年間を振り返ってみますと、理事長に就任（平成26年5月）して間もなく、社会福祉法の一部改正に伴う諸準備を進めることになりました。それは、従来は諮問機関であった評議員会を、議決機関とすることであり、理事会は執行機関として、評議員会は議決機関として、その機能を果たし、経営組織のガバナンスの強化を図ることにありました。従来の理事会、評議員会から法改正後の、経営組織への移行に際しましては、その当時の役員の皆様方のご理解とご協力の基に、平成29年4月に円滑な導入をすることができました。

一方で、時代は人口減少社会、介護人材の不足、少子高齢化が進む中で、団塊の世代が全員後期高齢者となり、介護ニーズがピークに達すると伝われる「2025年問題」を抱えています。法人はこれを乗り越え、明るい未来へ向かうための方策として、6項目の具体策を掲げ、2016年から2025年までの10年間の基本路線として「中長期経営計

画」を策定致しました。

今から3年前、令和2年5月に福寿園は法人創立40周年の節目の年を迎え、その象徴的事業として田原福寿園本館の建替え増床整備を行いました。また、40周年の翌年から法人の次の時代と位置付け、新しい分野の事業として、令和3年4月に田原市から、田原福祉専門学校の経営移管を受け、令和5年4月には東海市で、全世代型の複合福祉施設「木田の里」を開設致しました。

今、改めて思うことは、在任中に、この様な諸課題に対する取り組みや整備事業を、皆様のご理解を頂きながら進めることができたことを、大変ありがたく存じます。また理事長としての責務の一端を果たして、後任に後を託すことができましたことを、嬉しく思う次第です。

どうか皆様方、私の後任となる古田周作理事長に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお私は退任後は、今までとは異なる立ち位置から、新理事長を支えて参ります。長い間温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。



就任のご挨拶

理事長 古田 周作

過日開催されました理事会におきまして、山田浩三理事長の後任として、理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、50歳にして天から与えられた使命を全うすべく全力を尽くす所存であります。

まず初めに山田浩三前理事長には、理事長在任の9年間、社会環境が著しく変化する時代にあつて、着実に法人の成長を成し遂げ、経営基盤をより盤石なものへと深化させました。地域福祉と法人の発展に多大な貢献をなされたことに敬意を表します。今後は、当法人の特別顧問として大所高所から引き続きご指導をお願いしたいと存じます。

さて、社会福祉法人福寿園は、1980年の創立以来「愛と感謝と奉仕」の経営理念のもと、事業の拡大を図ってきました。現在では、愛知県内6市1町に、21施設106事業を経営し、職員数は1800人を超える規模の法人に成長させていただきましました。これまで関わったすべての皆様のご理解

とご支援に改めて感謝申し上げます。また法人は、創立40周年を機に、田原福祉グローバル専門学校の経営と本年度からは東海市に新たな福祉拠点「木田の里」を開設し、従来の高齢者福祉を中心としたサービスから全世代全対象型へのシフトを図り、地域共生社会の実現に向けて、より多角的な事業への取り組みを始めております。

現在の社会情勢は、米中対立、ウクライナ情勢、コロナ、物価高、災害の頻発など先の読めない非常に厳しい環境下にあります。加えて、2040年問題に向け、人口減少社会の影響は大きな課題であります。そのような中を、しっかりと先代の意志を継承しながら、時代に合わせ変化し、進化していくことが大きなテーマとなります。

最後に、40年以上にわたって福寿園を支えて下さったすべての皆様にごこれまでと変わらないご指導とご支援をお願い申し上げます。理事長就任の挨拶とさせていただきます。

木田城跡と城主たち

今年4月、東海市大田町に福寿園の新たな複合福祉施設「木田の里」が誕生しました。かつてこの地のすぐ南に『木田城』というお城があり、今もわずかにその痕跡が残っています。

中世の山城「木田城」

木田城がいつ築かれたのか正確にはわかっていませんが、江戸時代の地誌に荒尾空善という名が城主として記されていることから、16世紀中頃には存在していたと考えられます。荒尾氏は現在の東海市荒尾町から出た、鎌倉時代から続く武士でした。

中世の城は険しい地形を活かして築かれた山城が中心で、普段は人の住まない要塞でした。木田城もこの一帯で最も高い、防衛条件に恵まれた丘陵地に築かれていました。

木田城とその周辺の今むかし

木田城跡があるのは大田町城之腰交差点の東側一帯。地図検索をした際に示される場所は私有地で、住宅が建っています。その界限には一見してそれらしきものは見当たりませ

んが、一般的な中世の城に当てはまる痕跡がわずかに残っています。

中世の城ではたいがい最も高い場所に本丸（主郭）が築かれ、それを中心に曲輪と呼ばれる防衛施設が随所に設けられました。この辺りの最高地は天尾神社付近なので、本丸はここにあった可能性があります。ここから階段状に曲輪が連なり、周辺にも土塁や堀が作られて、丘陵全体が城であったことが想定されます。前述した私有地には、斜面を切り開いて作られた堀跡が残されています。

※敷地内への立ち入りはできません。
この地域の町並みは江戸時代から大きく変わっておらず、風情ある風景がそこかしこに残ります。城跡をたどりがてら、ぶらりと近隣の散歩を楽しむのもいいですね。路地を歩

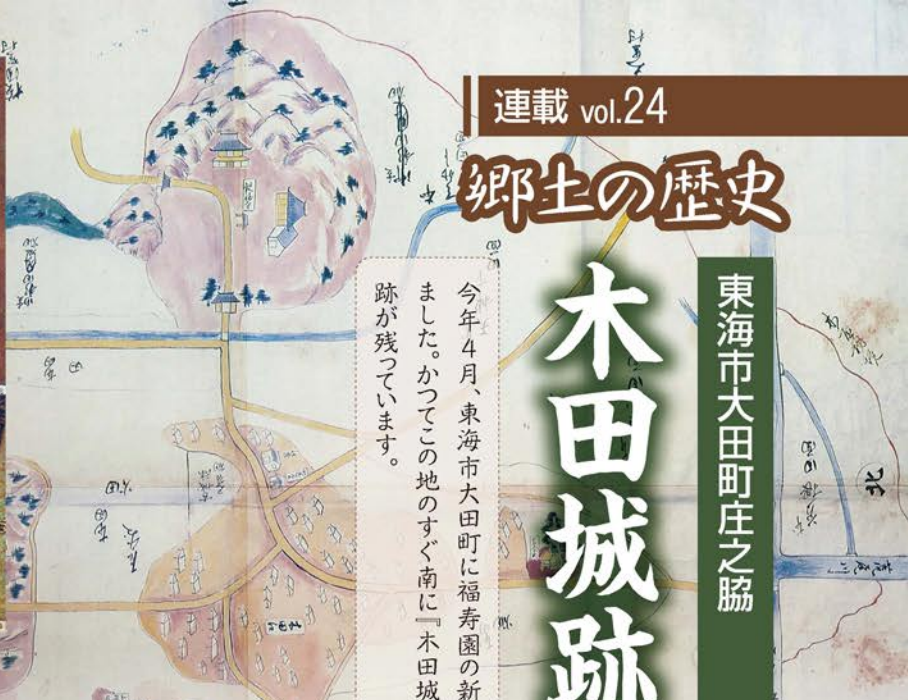
けば、土塁と思われる遺構に遭遇することもできます。城跡散策をしたら、ぜひ御城印を手にしてください。東海市立平洲記念館・郷土資料館にて配布しています。

移り変わった城主たち

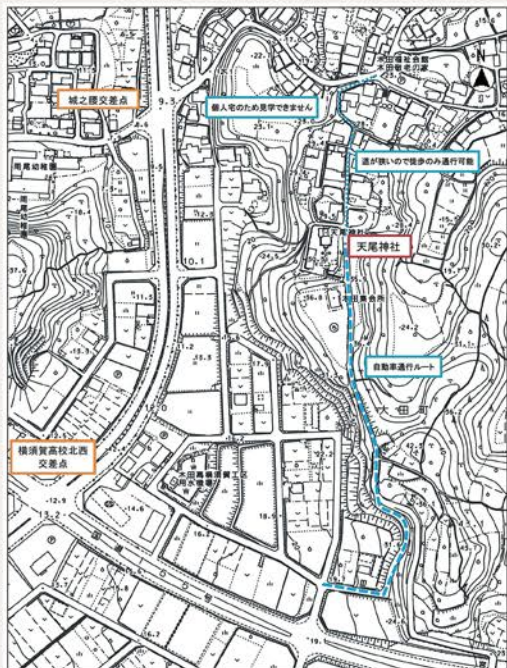
荒尾氏の名が史料に登場するのは14世紀前半（鎌倉時代）です。それから1世紀以上経った戦国時代初め頃の記録に、荒尾谷を領有した木田城主として、荒尾空善という人物のことが記されています。空善の後を継いだのが養子の義次。さらにその後を義次の息子の義久が継ぎました。娘の善応院は池田恒興に嫁ぎ、長男元助、次男輝政ら9人の子どもを産みます。こうして荒尾氏と池田氏は親戚関係となりました。



池田輝政



木田城跡周辺の町並み



木田城周辺地図(私有地に入ることはいけません)
※図は「てくてく愛知の史跡」ホームページより



天尾神社

木田城のお宝

木田城には莫大な軍資金が埋められているという伝説があります。隠し場所は「朝日夕日のあたるアララギの木の根元」。でも誰もそれを見つけられずにいました。

あるとき村の若い衆が集まり、宝探しを始めました。でもアララギの木がどこにあるのかわかりません。このため朝日と夕日のどちらもある場所、つまり城の一番高い場所を掘ることにしたのです。

掘り続けて3日目の夕刻、硬いものがガチンとクワに当たりました。宝物の詰まった石室に違いないと、みんな大喜び。暗くなったため掘り出すのは明朝にし、前祝いの宴会を開きました。

翌朝、喜び勇んで掘ったところ、出てきたのは大きなただの石。みんなガッカリしてへたりこんでしまいました。若い衆の父親の一人が石を買い取ってくれたので、そのお金でなんとか昨夜の酒代を支払いました。

その石は今でも、甚兵衛さんの屋敷にあるそうです。(「東海市の民話」より)

恒興は1556(永祿9)年、織田信長の命で木田城へ入り、これ以降荒尾氏は池田氏の家臣になっていったとされます。1572(元龜3)年に荒尾家当主の義久が、三方ヶ原の戦いで討死した後、またも信長の命により、10歳の輝政が義久の遺領を相続しました。

1584(天正12)年に父の恒興と兄の元助が小牧・長久手の戦いで戦死すると、輝政は家督を継ぐことになって大垣城に入りました。この頃には木田城は使われなくなっており、やがて廃城となったようです。

姫路城築城の池田輝政

池田輝政は傑出した人物でした。織田家の家臣を経て、豊臣

秀吉や徳川家康にも重用されました。家康の娘(督姫)をお嫁さんにもしています。外様ながら百万石近い石高を誇る大名となり、姫路城も築城しました。地元には、輝政の生まれは荒尾町の平島城で、義久の死後に荒尾氏の養子となり、木田城主も務めたという伝承もあります。



木田城跡の御城印



土塁(土で作られた壁)

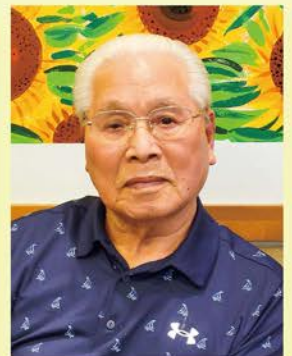
- 取材協力: 東海市教育委員会社会教育課
統括主任 宮澤浩司さん
木田城とその周辺ノンフレット
東海市の民話(東海市教育委員会)
- 資料提供: 東海市教育委員会社会教育課
東海市立平洲記念館・郷土資料館
- 参考資料: 木田城紹介ノンフレット
東海市の歴史を紐解くー木田城と池田輝政ー
(東海市大学連携まちづくり推進事業)
東海市観光協会Webサイト
愛知県史跡整備市町村協議会ポータルサイト
- 取材執筆: 手嶋慶子

連載 61

記録に残したい記憶

「貴重な体験を語り継ぐ」

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりのの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



日高 千吉郎
(ひまわり邸)

プロフィール

生年月日：昭和9年4月15日
性 格：おだやか
好きな食べ物：お寿司

父、日高千吉郎は障害があり言葉を上手く発せられません。代わりに長男の私が父について知っていることをご紹介させていただきます。ご容赦下さい。

父は昭和9年4月15日豊田市にて待望の長男として生を受けました。当時の拳母市(現豊田市)は大変な田舎で、祖母は三好から嫁ぐ際、山賊に襲われないよう護衛付きで山を越えて来たそうです。そんな田舎で大事に育てられ、父は素直にのびのびと育ちました。祖母の話では、甘えん坊で、小学校の頃まで家に帰れば即座に野遊びに飛び出して行き、疲れて帰ると祖母の乳を吸っていたそうです。



ライオンズクラブ活動にて

私が子供の頃、父のお尻に大きな怪我痕を見つけ尋ねたところ、小学生の頃に目の前の川で遊んでいた時、米軍のグラマンが現れ、機銃掃射されたとのこと。撃たれて慌てて橋の下に潜ったけど被弾したと説明されました。グラマンに打たれたのは本当でも、尻の怪我はやんちゃして木から落ちた際にできたものに違いないと今では思っています。

母と結婚して子供3人を授かりましたが、農地解放で田畑を失い、細々と農業をしていた我が家は、今振り返ると貧しい生活をしていました。

1963年頃、「このままでは食べていけない」と牛乳配達商売を始めました。高度成長期に入った日本経済、トヨタ自動車の発展で大層繁盛し、それなりに生活できるようになりました。夫婦で朝から晩まで休まず働いて、農繁期には田んぼ仕事も。私達兄弟はほとんどほったらかし、構っている暇が無かったんだと思います。

商売の休みは盆暮れの2回のみ。その休みには必ず旅行に連れて行っ

てくれました。手を掛けられない子供に楽しい思いをさせてやろうと奮発したんだと思います。それと父自身の楽しみのためにも。父は祖父に「百姓をやるのに学は要らん」と反対され、高校へ進学させてもらえませんでした。地元のは殆ど知らずに大人になった父は、違う場所を見て回りました。

今私も歳を重ね、地域の役を色々いただき、年配の皆様と顔を合わせることが増えましたが、どの方も父の様子を尋ねてくれます。話しぶりから、父が皆様に愛され、可愛がられていたことが良く分かります。私も父に反発していた時期もありましたが、今では父を敬愛しています。いつまでも長生きして欲しいと願っています。

(長男日高俊郎)



伊豆旅行



趣味の尺八

ひまわりの街 出張天ぷら開催!



6月8日に厨房職員が各ユニットへ向かい、入居者の目の前で天ぷらを揚げる、出張天ぷらが開催されました。

天ぷらを厨房職員が揚げ始めると、ユニット全体に食欲をそそるいい匂いが充満して、普段の食事とは違い、目の前で天ぷらが揚がる様子に、入居者の皆さんも興味津々。前のめりになって注目されていました。熱々の天ぷらがそれぞれに提供されると、「揚げたてはやっぱり美味しいね」と満面の笑みで話されながら、喜ばれていました。
次回はデイサービスへ出張予定です。

田原福祉グローバル専門学校 田原颯まつり

コロナ禍も明け、4年ぶりに田原颯まつりが開催されました。たつぷくも市立の時から参加させていただいており、福寿園に経営移管された後も引き続き伝統を守っています。学生達は、自分達で作った小颯や、畳6畳程もある大颯を、施設利用者と一緒にあげたりしました。天気にも恵まれ、空高く舞う颯のように、学生も大きく介護の世界へ羽ばたいていくことでしよう。



デイサービスきぬうら

暑さを吹き飛ばそう!うちわ作り

暑さが本番になってきたこの頃、デイサービスきぬうらでは、うちわを作りました。職員やボランティアさんとも協力して、みんなで作るうちわは十人十色。おもて面は重ねるごとに色づくお花紙を使って紫陽花を風流に仕上げ、うら面は折り紙を使ってカエルや星雨など、季節にぴったりなうちわができました。中には花火を表現する方も



いたり、個性豊かな作品となっています。さらに持ち運びに適した小ぶりなサイズなので、今年の夏はこれで涼む!に決定です!

パシフィックショートステイ 雫滴る紫陽花たち

施設のシンボルでもある紫陽花の花々が、雨粒を纏ってひととき鮮やかに咲き競っております。

梅雨の時期は天気の悪い日が多く、気持ちも沈みがちになりますが、ご利用者の方々は、職員と一緒に散歩に出れば紫陽花に足を止め、花の色合い、成長を楽しまれています。

施設内の喫茶では紫陽花にちなんだ涼やかなメニューが提供され、憩いの時間を彩ります。色とりどりの花々を愛でているだけで、自然と笑みがこぼれてきます。



ひまわり邸

サツと生けるわね

訪問先からお花をいただいて、どうやって生けようかと悩んでいたら？デイサービスにお花の先生が来て



ますよ！と。お花を持って何うと、快く「サツと生けるわね」と引き受けてくれました。花器もお花に合わせて選んでくれました。「昔は家で教室を開いて、生徒さんが数人来ていたわね。もうだいぶ前のことよ」と話しているうちに完成！早速ロビーに飾らせていただきます。

花の里デイサービス フラダンスショー

6月11日にフラダンスショーを開催しました。事前に行ったハイビスカスのお花で、舞台を華やかに飾り、南国の雰囲気を楽しみながら、見させていただきました。最初に子どもたちのフラダンスを観賞し、「みんな上手だね」と笑顔が溢れていました。アンコールにも答えていただき、大き



な拍手に包まれながらショーは大盛況に終わりました。

渥美福寿園デイサービス

バーベキュー



6月11日、バーベキューを開催しました。あいにく当日は小雨が降っており、室内での飲食になってしまいました。職員が玄關の外で炭をおこし、新鮮な野菜やお肉に、海老やホタテなどの海鮮も用意しました。雨ということではできませんでしたが、お肉などが焼ける匂いで「おいしそうだね」と言われ、お腹もいっぱいになり、皆さんとても満足されていました。

東海福寿園

音楽に酔いしれて…♪

5月14日に名古屋フィルハーモニー交響楽団の方が施設へ来てくださ



り「ふれあいコンサート」が開催されました。本来は昨年行う予定でしたがコロナの影響を受け開催を延期しており、ようやく来ていただくことができました。オーケストラの曲を披露してください、弦楽器の素敵なハーモニーがホール中を包みこんで癒された後は、皆さんからのリクエストで昭和歌謡曲も披露してくださいました。参加された皆さんは、拍手喝采で大満足な様子でした。音楽の力は偉大なと改めて感じた1日でした。楽団の皆さん、素敵な演奏をありがとうございました。

田原福寿園

あじさいスナック開店

本館・南館合同で、久しぶりのスナックを行いました。雨ばかりで気分の落ち込みがちな梅雨の季節です



が、会場にはたくさんさんの紫陽花を飾り、和やかな雰囲気の中で開催でした。懐かしいBGMに乗せて、会場からは焼きそばやカップラーメン、たこ焼きのいい匂いが…普段はなかなか食べることのできないジャンクフードに皆さん興味津々。「いやあ、いい匂いだ！」「たまにはこんなご飯もいいなあ」と嬉しそうなお様子でした。カラオケも盛り上がり、皆さんで作った梅酒も開けて、今日はほろ酔い気分です。乾杯！また来年も一緒に楽しみましょうね。

放課後等デイサービスきだつこ

オタマジャクシはカエルの子!?

ランドセルを背負ったまま「もう足はえた?」と瞳を輝かせて水槽をのぞくきだつこの子どもたち。

夕暮れの湿地からカエルの大合唱が聞こえ、探検隊出発。「いいね」と諦めかけたその時、何かピヨコと動いた。小さな小さなオタマジャクシ発見!!靴を泥だらけにしながら捕獲に成功。「よかったよ」の声が響き渡り、「オタ



マジックシってナニ?」素朴な疑問。図鑑で調べ、只今、変態観察中。見事に変身するでしょうか?好奇心いっぱい毎日です。

昭和の里
レトロな駄菓子コーナー

小さなスペースなので、大変お値打ちに販売しています。近所のナーがあるのです。夕方になると近所の子どもたちが買物にやってきて、ひとたび賑やかな空間になります。

障害者の利用者や子どもが計算しやすいように、税込金額で値札が付い



ており、親御さんからも、「子どものお金の使い方の勉強ができる」と喜んでいただいています。

ちた福寿園デイサービス

お出かけ歩行訓練♪

四季折々の花が楽しめる旭公園の芍薬の花が見ごろになり、5月6日から12日にかけて出掛けました。坂道を下り広い公園を歩いて、お目当ての芍薬を目指します。麦わら帽子が必要なくらい天気が良い、大きな花を見ては歓声が上がリ、手の届く花をそっと包んで匂いを楽しむ姿も見られました。公園へ花を見に来た方達とも自然に会話も弾み、多くの方と触れ合うことができました。久しぶりの外



出レクに、利用者さんの笑顔も芍薬の花に負けないくらい満開でした。いつもより楽しく軽い足取りで、効果抜群の歩行訓練になりました。

田原ゆの里
モーニングでゆったり朝ごはん

5月のお楽しみ企画でCate2910へ出かけ、モーニングを食べて来ました。ショークー



スに並ぶたたくさんのパンを見ながら「どれにしようかな?」と皆さん迷いながら、好きなパンを選んでいきます。Cate2910のモーニングは、パンが食べやすい大きさで、種類も2、3個選べるため、でした。

くすのきの里
みんなで楽しむ潮干狩り

5月25日、特養ゆり・ききょうユニットでも楽しんでいただけに潮干狩りレクを行いました。潮干狩りが始まると、「こ



うやると上手く獲れるな」「昔はよくやっていたから懐かしいね」と楽しみながら取り組むことができました。収穫後のあさり酒蒸しにして、皆さんでおいしくいただきました。

豊田福寿園

福祉村3施設合同草取り

雨続きの6月のはじめ、草取り日和といえるほど晴天の日に、福祉村3施設合同駐車場の草取りを行いました。いつも使っている駐車場に生えている草木を電動バリカンで刈り込み、その草木をリアカーで運ぶ…を繰り返します。休憩時には、福祉村の施設の皆さんと談笑し、「今度、親睦会でもやりましょうか!」と話に花が咲きました。スポーツドリンクがこんなに美味しかったっけ?と

思えるほど、暑い中みんなで協力し、駐車場がきれいになりました。



武豊福寿園

3年ぶりの家族交流会を開催!

2階特養にて3年ぶりの家族交流会を開催し、バーベキューを行いました。お肉はもちろんのこと、サーモンやシーフード、フランクフルトに焼きそば等、メニューも豊富に用意し、食後にはティラミスやフルーツタルト等のデザートも召し上がっていただきました。



はカラオケ大会を行いました。入居者はもちろんのこと、ご家族にも歌をお披露目していただきました。また、職員が仮装を行い、カラオケ大会を盛り上げました。

当日はあいにくの雨でしたが、多数のご家族に参加していただくことができました。交流会の最後には、家族会会長の石川様より「大変楽しい会でした」とのご挨拶もあり、入居者、ご家族にも喜んでいただけたと思っております。

養護盲福寿園

お腹いっぱい♡

気持ちの良い季節になりましたので、早速いちご狩りに出かけました。そこですで最初に出てきたのがバスケットボールサイズのスイカとメロンです!お店の人が食べやすく切り分けてくれました。こんなに食べられるかな?と言っていたメロンも、1/2玉をあっという間に完食し、どちらもみずみずしく最高♡と大好評でした。それからずっと楽しみにしていたいちご狩りです。少し

時期が遅かったかな?と心配する声もありましたが、甘くておいしいちごをたくさん食べることができました。いちご狩り恒例の「私〇個食べたよ!」とみんなで食べた数を発表しながら、久しぶりの外出を楽しみました。



みなみ福寿園ショートステイ
家康ツアー

3年間という長いコロナ生活が明け、「マスクの下にあるご利用者の笑顔が見たい、外に出て思い切り笑いたい」と、外出行事をスタートさせました。



ドラマ「どうする家康」にちなみ、家康ツアーと題して岡崎城公園に行ってきました。

行きの車内では、職員のバスガイドで岡崎城に関するクイズを楽しみながら向かいました。実際にクイズにした場所や答えの場所を現地で検証するように公園内を回っていき、そこからの岡崎城天守閣を目の当たりにし、大歓声。私たちの見たかった「笑顔」がありました。

改修起工式 養護盲福寿園

令和5年5月16日、養護盲老人ホームの耐震補強と共用部分（食堂・廊下）や屋根の改修及び、ショートステイ用居室を拡張するための工事の起工式が執り行われました。令和3年度に居室の個室化の改修を完了したところですので、今回は第二期の改修工事となります。翌週の22日に着工しましたが、年内に建物内の工事が完了し、年度内には外回りのリニューアルも終える予定です。この改修工事により生活施設としての機能や住環境の向上が図られます。完成が本当に楽しみです。



調理員2年目・3年目研修



田原福祉グローバル専門学校において、調理員・栄養士対象に、5月17日に2年目研修を行い7名が参加し、また6月21日には、3年目研修を行い10名が参加しました。それぞれの年数に応じて、『福寿園の食の理念』や衛生管理に関する講義、調理実習、一日の振り返りを行いました。実習においては、各々の料理を見比べ、食べ比べてみることで、灰汁とりや煮含めることの大切さを学ぶことができました。1年目から3年目までは、年に一度ずつ研修を行うシステムが整いましたが、1年ごとに成長していくさまを確認することができ、頼もしく感じました。忙しい毎日ですが、日々の仕事を淡々とこなすのではなく、『人を幸せにするおいしい食事作り』という目的を見失わないように、自身の食生活も大切してほしいと願っています。

パート職員研修開催

5月下旬から6月初旬に各地区において、1日ずつの新任のパート研修会を開催し、全体で53名が参加しました。午前中は常務理事、施設部長の講義で法人の理念とサービス方針を、午後は各地区施設長の仕事への心構え、職場のマナー、今後のキャリアアップ等を学びました。特に今回は木田の里開設に伴う新規採用者も多く、さまざまな職種の職員が受講しました。

職種が異なっても、法人の創始の理念や「人の生きる」を支えることは職員皆共通のものであります。参加した職員の研修報告書からも、そのような法人の考え方や歩んできた歴史に共感する声が多くありました。



豊田スタジアムサッカー団体観戦



5月20日、豊田スタジアムでの名古屋グランパスvsサンフレッチェ広島のサッカー観戦に行ってきました。職員と家族合わせて20名が集まり、団体観戦を楽しみました。直で見る白熱した試合には、グッと熱くなるものがあり、サッカー観戦は初めての職員も、詳しいルールは分からなくても「また来たい」と思えるほど楽しめました。また、施設が違う職員との交流や、同施設でも職種や部署が違うとなかなか話すことのできない職員と話すこともでき、それぞれ充実した休日となりました。

ISOマネジメントレビュー

6月5日に法人マネジメントレビューが開催されました。令和4年度の品質及び環境目標、その他の規格要求事項においてあげられた課題や有益な情報を分析し、その結果を経営層に報告しました。内外部の課題やステークホルダーのニーズや期待、環境保全等に関して経営層から様々な改善の指示があがりました。より良い品質のサービスを生み出すだけでなく、多様な分野における有益なシステムを構築することで、福寿園に関わるすべての人に満足していただけるように今後も取り組んでいきます。

介護入門講座

田原福祉グローバル専門学校

田原福祉グローバル専門学校では、東三河広域連合からの受託事業として、毎年介護入門講座を実施しています。今年も20名の地域の方に参加していただき、1ヶ月間に渡り受講されます。

介護の基本や認知症の理解、福祉用具の活用についてなど、幅広く講義がありますので、興味がある方は是非ご参加ください。



山歩きサークル 猿投山を満喫してきました!

去る6月24日、今回登った猿投山は、愛知高原国定公園に含まれる豊田市と瀬戸市にまたがる標高629m、古くから山岳信仰・巨石信仰の場として崇められている山です。今回、職員10名で登り、上りは東海自然歩道を行き、御門杉、猿投三社大明神(西宮、東宮)を観ながら、下りは自然観察路を通り自然を満喫、マイナスイオンでリフレッシュできました。また、天候にも恵まれ、展望台からは豊田市、名古屋市が一望できとても感動しました。登山道中では、職員同士懇親を深めたり、行きかう登山者ともあいさつ、登山話で盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。



お知らせ

令和4年度決算書の閲覧について

令和4年度の事業報告及び決算報告につきまして、法人本部などで閲覧することができます。

法人リスクの日「行方不明捜索訓練」



24年前の「6月6日」、田原福寿園において、あるご利用者が行方不明となりました。この辛い経験と教訓を風化させないため、6月6日を「法人リスクの日」と制定し、各施設では行方不明捜索訓練を実施しました。ご利用者の特徴は何か、施設内・敷地内を見落とすことなく捜索できるか、モニターは使用できるか、職員、地域と連携できるか等、発生時に大切となる確実な情報収集と初動の訓練を行いました。緊張感の中、声を出し、走り、真剣に取り組む職員、施設外捜索においては地域の方の協力を得ながら訓練が行えました。これからも訓練を積み重ね、リスクへの意識を高めながら、サービスを利用される皆様の安心安全と、笑顔を私たちは守っていきます。

3年目研修会



6月29日、ホテルシーパレス豊橋において、3年目研修会が開催されました。この研修は段階的研修の一環として、毎年、入社3年目の職員を対象に開催しています。今回は、令和3年4月採用者等を中心に85名の職員が参加しました。この年は田原福祉グローバル専門学校の運営が福寿園に移管され、ベトナムから留学生第1期生が介護福祉士として法人に採用された年でもあり、外国人職員も多く、介護職員から教員まで様々な職種の職員が集いました。

研修内容は、山田前理事長より「明日のリーダーへ」と題し理事長からの講義を始め、認知症ケア、職場でのコミュニケーション、喜びの名刺交換等グループワークを中心としたものでした。

3年目というと、上司や先輩の間で大変な場面もあるでしょうし、多くの仕事を任される世代です。時には仕事がマンネリ化し、将来の自分の目標に迷いも生じる年代ではありますが、それぞれの施設等で頑張っているお互いの同期職員との再会を喜び合い、グループワーク等を通じて、お互いの思いを分かち合うことができました。

また、コロナの規制緩和に伴い、研修会後には4年ぶりに懇親会も開催し、参加者の所属施設長も交え、楽しいひと時を過ごすことができました。

サービス付き高齢者向け住宅 木田の里 入居者募集

for Active Senior 都市型アクティブシニアライフを実現



Kida no Sato
サービス付き
高齢者向け住宅
木田の里

安心の環境でのびのびと…毎日を楽しむシニア向け賃貸住宅



入居条件 60歳以上

部屋数 38室

Aタイプ 30㎡/30室

Bタイプ 45㎡/6室

Cタイプ 60㎡/2室

サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)では、ご高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスを提供しています。

お気軽に
お問い合わせ
ください

〒477-0031 東海市大田町庄之脇1番地
TEL.0562-36-1128
E-mail:kidasato@fukujuen.or.jp



岩風呂(福寿の湯)

駅から
名古屋まで
18分

おすすめポイント 1
名鉄太田川駅から徒歩800m
クルマがなくても駅チカだから快適な生活。
ショッピングモールや病院も近く充実の環境

おすすめポイント 2
敷地内「福寿の湯」に
毎日入浴可能※
※入居者様は定額料金にてご利用いただけます

おすすめポイント 3
昼食、夕食弁当の
お届けサービスあり

おすすめポイント 4
ペットとの同居可
※一部の部屋のみとなります



シニアのための安心設備

おすすめポイント 5



■緊急通報設備



■高齢者対応
ユニットバス

- IHシステムキッチン
- 安否確認設備
- エントランスセキュリティ

オプションで
スマートスピーカーを
ご利用できます。
ご自分の声で照明、エアコン、
カーテン等を操作できます

監事 太田直樹様 岩澤悦子様 川口恭子様 森下まり子様 中川弘喜様 伊垣章子様 青木尚文様 伊藤八重子様 青山房生様 副会長 伊藤八重子様 幹事 青木尚文様

渥美福寿園

会長 大場可様 副会長 磯田豊様 幹事 富田秀穂様 大場久美子様 千田哲雄様 鈴木明彦様 鶴飼敏恭様 会計監査

田原福寿園

各施設で家族会や家族親睦会の総会が行われました。
左記施設でも今年度役員の変更がありましたのでご報告いたします。新役員体制は次の通りです。よろしく願いたします。

家族会だより

花の里

会長 小久保昌彦様 副会長 大島邦男様 幹事 岡本さと美様 山本和子様 鈴木和子様 監事 木村久子様



「コロナも5類へと変わり、ようやく家族会主催の行事を開催することができました。今回は沖縄三線と渥美観音太鼓とのコラボ演奏。多くの入居者・利用者がひまわりホールを埋め尽くし、沖縄三線のやわらかな音色と迫力ある太鼓に皆さん感動され聞き入っていました。」

養護盲・田原福寿園 沖縄三線と渥美観音太鼓の集い

**みなみ福寿園
家族会バーベキュー大会開催**

梅雨時期真っ只中の6月4日、家族会主催のバーベキュー大会が芝生広場にて4年ぶりに開催されました。当初は雨の予報が出ていましたが、ご家族、ご利用者、職員の熱い思いで雨雲を吹き飛ばし、暑いほどの陽気となり、57家族96名のご家族が参加されました。



目の前で焼ける肉や、海鮮を堪能し、皆さんの笑顔を見ながらの食事は時間を忘れさせ、自然と会話も弾み、あっという間に楽しい時間は過ぎました。空も青く、芝生も青々と

さわやかな日差しの中でにぎやかに開催することができました。

**ひまわり邸
家族会清掃ボランティア
活動・バーベキュー**



6月25日に、16家族26名の家族様にご参加いただき、施設内の清掃活動をしていただきました。普段なかなかできない作業を優先的にしていただきました。久しぶりの家族会のボランティア活動でしたが、皆さん家族交流もしながら清掃活動に精を出していただき、本当にありがとうございました。掃除後は、皆で和気あいあいとバーベキューを楽しみました。

**くすのきの里
特養合同食事会**

1階3階、併せて6ユニット合同の家族交流会として、食事会を開催しました。お寿司を用意し、デザートはバイキング形式で好きなものを選んで食べていただけるようにしました。また、お食事を食べながらフラメンコを鑑賞し、お食事後にはエクスフラメンカというフラメンコのテイストを取り入れた簡単なリズム体操を行いました。カスターネットを使用した体操で、入居者、家族の方も一緒に参加し、盛り上がりました。4年ぶりの開催ということもあり、



多くの家族が参加され、入居者、家族、職員との懇親がとれたいい機会になりました。

**ちた福寿園特養グループホーム
家族会**



6月25日、家族会交流行事として清掃活動を実施しました。ご家族の協力の下、普段手の届かなかったところに手を入れることができ、施設全体が喜んでいました。清掃活動後のバーベキューは4年ぶりでしたが、協力して一仕事を終えた後だけあって、とても賑やかでした。ご家族同士や職員との繋がり大切さを改めて感じた一日でした。ご協力ありがとうございました。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.6

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在100名(フィリピン人66名、ベトナム人32名、インドネシア人2名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思われましたか?
A 昔から日本語と日本の文化が好きで、興味があったからです。
- Q 日本で働いてみてどうですか?
A 最初は慣れなくて不安でしたが、周りのみなさんも応援してくれて一緒に楽しく仕事をすることができています。
- Q 日本に来てからの思い出はありますか?
A 友達と一緒に九州に旅行に行きました。美味しいご飯をたくさん食べてとても楽しかったです。
- Q お休みの日は何をして過ごしていますか?
A 買い物が好きなのでよく出かけます。勉強も頑張っています。ベトナムの後輩や友達と一緒に介護の勉強をすることもあります。
- Q 日本の好きな食べ物はありますか?
A ラーメンです! 最初は味に慣れなかったのですが、気付いたら大好きになっていました。まだ、しょうゆラーメンしか食べたことがないので、他にオススメがあったら教えてください!
- Q これからの夢はありますか?
A 日本語のN1をとることで! 何回も試験を受けていますが、丁寧な言葉や、漢字を覚えることが大変です。次の試験では合格できるよう、復習を続けています。
- Q 最後に一言お願いします。
A 努力しないものに成功はない! この言葉通りこれからも一生懸命頑張っていきたいと思えます! みなさんよろしくをお願いします。



ダオ ティハン
ニックネーム
ティハン
田原福寿園
国籍:ベトナム



連載 施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム
ひまわりの街

施設長 傍嶋 博志

スポーツ万能、縦割りボディの有川施設長からバトンを受け、喋りは万能、横割りボディで苗字がそばじまですが、そばアレルギーの施設長です。(笑)

自分事ですが、子ども2人も独立し、昔から車が大好きで、憧れのスポーツカーを買い、素敵な日々を送っていました。孫ができ、家族が増え、出掛けるようになる2ドアの車に不便を感じるようになりました。かわいい孫と一緒に出掛けたいと、今流行りのSUVを購入。孫3人この子たちと色々な所に出掛け、一緒に笑顔で過ごせることが幸せと感じるときです。誰もかまってくれないときは半日以上かけて大好きな愛車を洗車しています。この幸せな想いを仕事にも反映できればと思います。施設に来ていただいたときには、是非お声がけください。

次号は、東海福寿園黒野施設長へバトンを渡します。





第20回
ありがとう

福祉の 絵手紙

伝えたい、思いやりの気持ち



第20回 福祉の絵手紙 作品募集

令和5年
募集期間 8月31日(木) 当日消印有効

〔応募資格〕 高校生以上で福祉の心を伝えたいと思う方

〔使用画材〕 自由 ※パソコン・タブレット端末での描写は不可

〔応募方法〕 1人1点まで

〔表面〕 福寿園の応募用紙(施設に設置)もしくは「自分で用意した普通はがきの用紙に作品を描いて下さい。」

〔裏面〕
①氏名 ②年齢 ③住所 ④連絡先
⑤タイトル ⑥メッセージ
①～⑥をご記入のうえ、作品送付先までお送りいただくか、お近くの福寿園の施設までお持ち下さい。

〔作品送付先〕 〒441-3413

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3
福寿園 第20回「福祉の絵手紙」係まで

〔表彰・発表〕

賞状および副賞を贈呈いたします。
令和5年11月に福寿園のホームページと「機関紙ひまわり」にて発表。
その後も優秀作品は施設内での展示やHP、機関紙にてご紹介いたします。

その他の注意事項

- 作品はオリジナルおよび未発表のものに限りま。
- 応募作品はお返しいたしません。
- 裏面に必要事項の記入がない場合は無効となる場合があります。
- 著作権は主催者に帰属します。
- 個人情報とは本作品展の運営に必要な範囲内で利用いたします。応募者の同意なく利用目的を超えて利用することはありません。

主催・お問合せ先／社会福祉法人 福寿園 TEL.0531-27-0008



令和5年7月10日発行

発行／社会福祉法人 福寿園
理事長／古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
https://www.fukujuen.or.jp

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.170 16